

## 教材の紹介

小学生向け

おこづかいきろく



おこづかい帳です。

中学生向け

技術・家庭科 (家庭分野)  
ワークシート



「指導者向けの社会科 (公民分野)」もあります。

高校生向け

これであなたもひとり立ち



「ひとり立ち」について必要な知識を身につけるためのワークブックです。指導者向けの「指導書」、「電子教材 (CD-ROM)」もあります。

高校生向け

18歳までに学ぶ 契約の知恵



高校生の方を主に想定し、18歳までに身につけておきたい契約の知恵を紹介しています。一成年年齢の引下げ (20歳→18歳、2022年4月実施) に対応するためのテキストです。

## 教育関係者向け

金融教育プログラム



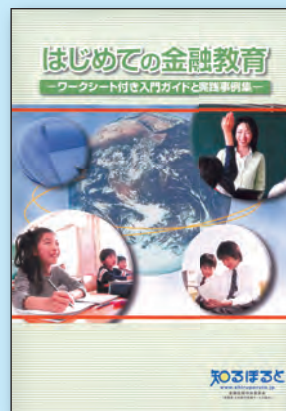
金融教育についての理論的な解説と、指導計画例を掲載しています。

金融教育ガイドブック



幼稚園から高校までの金融教育の実践事例を掲載しています。

はじめての金融教育



金融教育をはじめる方に、最初にご覧いただきたい冊子です。実践事例を丁寧に解説しています。

※資料の詳細は、知るぽるとホームページ (www.shiruporuto.jp) でご覧いただけます。

# 知るぽると

## 広島県金融広報委員会

HP アドレス <https://shiruporuto-hiroshima.jp/>  
〒730-0011 広島市中区基町 8-17 日本銀行広島支店内  
TEL: 082-227-4268 FAX: 082-502-0165  
E-mail: [hiroshima@shiruporuto-net.jp](mailto:hiroshima@shiruporuto-net.jp)



知るぽると  
広島

## はじめよう金融教育



## 広島県金融広報委員会の 金融教育支援

～おかねの勉強、応援します～

広島県金融広報委員会は、日本銀行広島支店に事務局を置き、広島県、中国財務局、県内の金融機関等と協力しながら、中立・公正な立場で県民の皆様にくらしに身近なおかねの情報を提供している団体です。

活動内容としては、

①「生活に役立つ金融・経済情報」の提供 (無料講師派遣、講演会・セミナーの開催、各種刊行物・資料等の配布)

②学校における「金融教育」の支援

を2つの柱としています。

このうち学校における「金融教育」支援の活動内容をご案内します。

## 金融教育とは？

金融教育とは、お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育です。

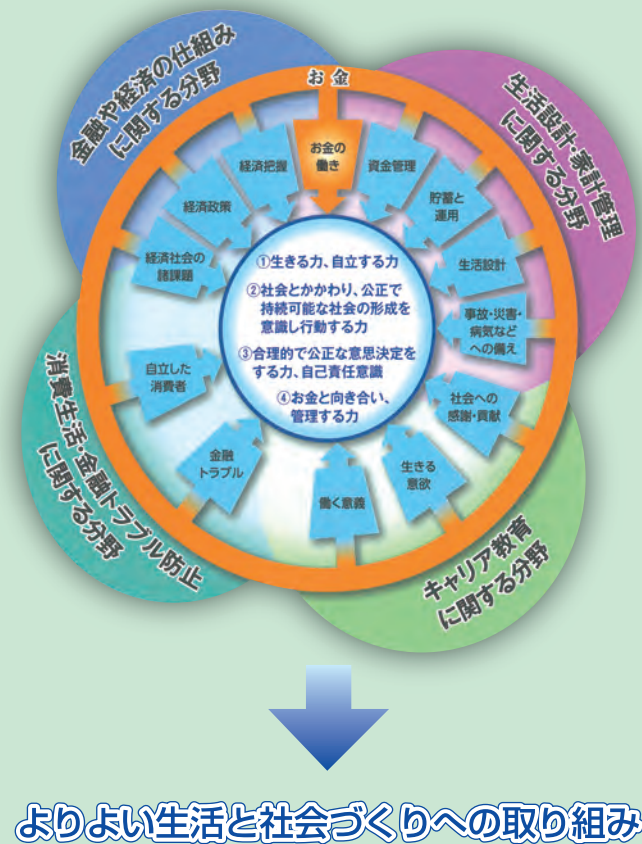


## どんな内容を学ぶの？

お金を使う、貯める（運用する）、稼ぐ、借りる、といったお金のさまざまな側面にかかわる知識・情報のほか、金銭や物に対する健全な価値観、勤労を尊ぶ考え方を身につけることを目指しており、以下の4つの教育分野に分けることができます。

- ① 生活設計・家計管理に関する分野
- ② 金融や経済の仕組みに関する分野
- ③ 消費生活・金融トラブル防止に関する分野
- ④ キャリア教育に関する分野

### 金融教育の4つの分野と重要概念



【金融広報中央委員会『金融教育プログラム』より】

広島県金融広報委員会では、「金融教育」に取り組む学校を支援するために、様々な活動を行っています。

## 金融教育(金銭教育)研究校制度

生徒や児童、幼児の発達段階に応じた金融教育を学校の授業で実践して頂くとともに、効果的な教育方法を研究して頂くことを目的とした制度です。

※「金銭教育研究校」とは、「金融教育」のうち、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置いた実践・研究を行って頂く研究校です（主として小学校、幼稚園が対象）。

研究校に対する支援内容は以下のとおりです（研究校の委嘱期間は原則2年間です）。

- ① 教育研究費の助成・・・30万円/年（ただし、幼稚園等は15万円）  
—研究費は、教材の開発・作成、授業の実践等の費用としてお使いいただけます。
- ② 無料講師派遣（授業・保護者向け講演・教員向け講座）
- ③ 研究・実践内容の企画立案におけるサポート
- ④ 金融・金銭教育に関する教材・資料の提供
- ⑤ 公開授業の開催におけるサポート  
—公開授業を開催する場合、著名講師を学校にお招きし、児童生徒、教員、保護者を対象とした講演会を実施することができます。



## 授業や講演会への無料講師派遣



学校の授業や保護者の方々を対象とした講演会等に、豊富な実績をもつ広島県金融広報委員会の「金融広報アドバイザー」を講師として無料派遣します。

また、先生方に対しても、金融教育の具体的な実践方法や教材をご紹介するセミナーを行っています。

《講座テーマ例》

（小学校）おこづかい帳をつけてみよう、みんなで学ぼう「お金の大切さ」

（中学校）わが家の家計を知ろう、携帯電話とインターネットトラブル

（高等学校）自分のライフプランを考えよう、18歳までに身につけたい契約の知恵

（保護者）子どもへのお小遣いの与え方、子どもの自立と金銭教育

## 教材・資料の提供

金融広報中央委員会では、学校や家庭での学習・指導に活用できる様々な教材・資料等を作成・配布しています。講師派遣による授業での利用はもちろんのこと、先生方が行う授業でご利用頂くことも可能です。

また、先生方が金融教育の授業を始めるに当たって参考となるような豊富な実践事例を掲載した資料を準備しています。

どんな教材があるの？教材のご紹介

